



JBA 3x3 強化方針(一部抜粋)

~2020東京に向けて~

2018.9.18_報道資料

■ 3x3バスケットボール

競技特性から見る「3x3の可能性」

5on5ルール	3x3ルール	特性	日本の利／不利
コーチ指揮	コーチ禁止	<ul style="list-style-type: none"> ・選手の自立・自律が必須 ・自己分析・自己解決能力が必須 	日本のスポーツ教育 → 日本にチャンスあり!
1試合／日	Max 3試合／日 ※約90分間隔	<ul style="list-style-type: none"> ・オフコートでのマネジメント能力が必須 ・ストレス耐性が必須 	日本のスポーツ教育 日本のスポーツ科学 → 日本にチャンスあり!
40min Game	10min Game	<ul style="list-style-type: none"> ・プレーの強さ・激しさ増 ・ゲーム状況の把握能力が必須 	→フィジカルは課題
得点効率 →1.5倍 (2P, 3P)	得点効率 →2倍 (1P, 2P)	<ul style="list-style-type: none"> ・アウトサイドスキル優先 (Inside < Outside) ▶ 1on1 on-ball Def 必須 ▶ 1on1 Low Post Def ある程度の必要性 ▶ OutsideでのCutting/Drive Penetration必須 ▶ Screen Playでの崩し方が重要 	アウトサイド優先 → 日本にチャンスあり!
10人 @Half-court	6人 @Half-court	<ul style="list-style-type: none"> ・Spacingの最大限活用が重要 ▶ OutsideでのCutting/Drive Penetration必須 ▶ Running Rebound有効 	機動力を生かす → 日本にチャンスあり!
24sec shot clock	12sec shot clock	<ul style="list-style-type: none"> ・Transition能力が必須 (短距離の機動力、コミュニケーション力) ・ボール保持時間短縮での攻防が必須 ▶ 1st Optionでの崩し方が重要 ▶ Passingスキルが必須 	機動力を生かす → 日本にチャンスあり! →崩しのかげひき課題 →Passingは課題
5 Personal Fouls	No Personal Fouls	<ul style="list-style-type: none"> ・チームでのFoulマネジメントが必須 	チームでBig-manにFoul可 → 日本にチャンスあり!

■ JBA理念

「バスケットボールで日本を元気にします！」

■ 3x3 目標

「2020東京オリンピック 男女出場・メダル獲得」

■ 3x3 強化方針・強化策

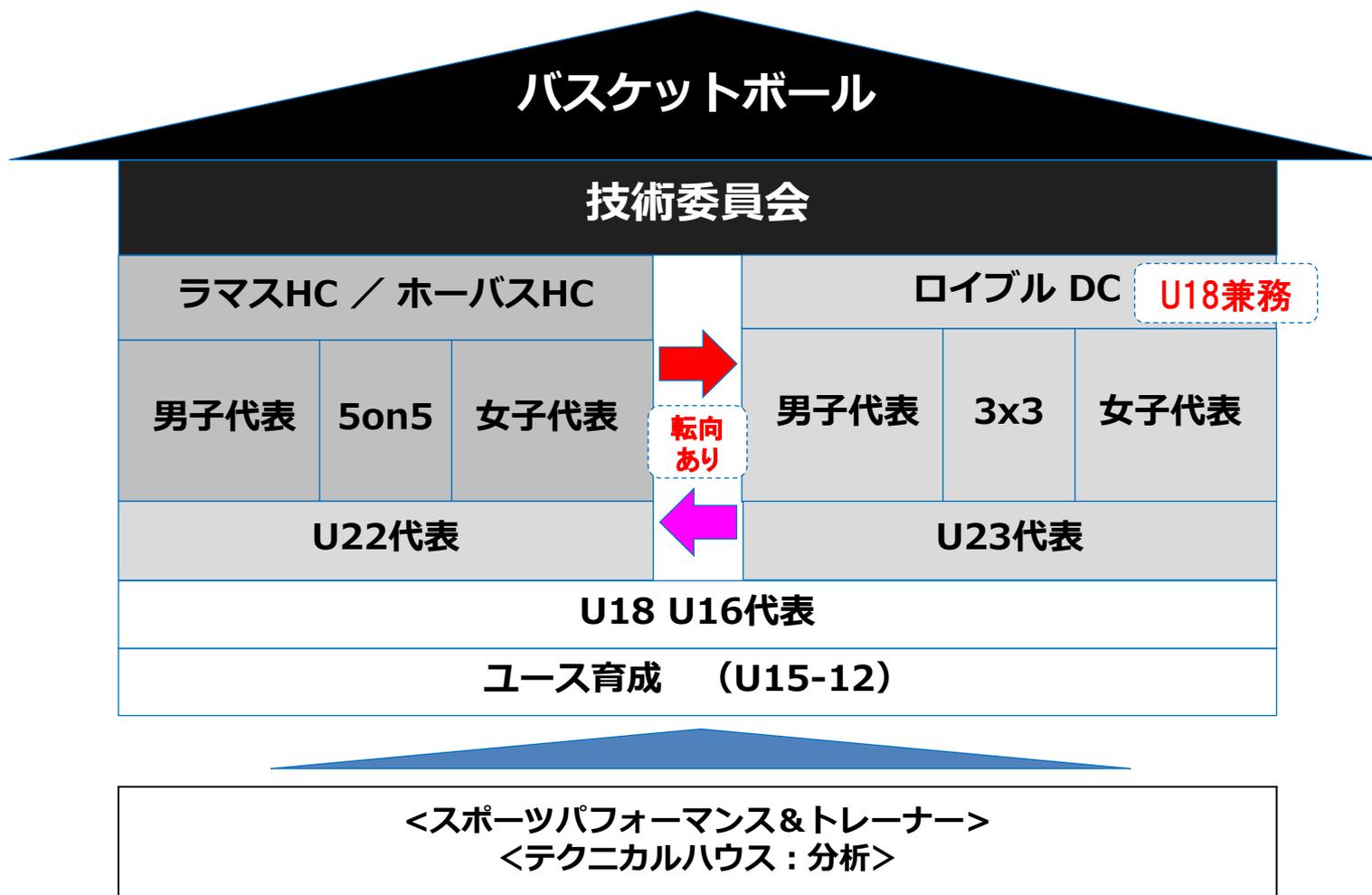
① 「世界と戦えるチーム強化」体制の確立

- 一体型強化体制 → トップ選手発掘
- チーム体制 → ディレクターコーチの招聘
- オリンピックチーム編成
 - 男子：3x3各大会・BLG・大学生・帰化選手
 - 女子：3x3各大会・WJBL・大学生
- 強化環境の充実
- 国内大会の強化システムの整備
- 海外転戦
 - 男子：ヨーロッパ中心
 - 女子：アジア中心

② 日本代表チーム「勝利の方程式」の確立

- FIBA3x3 競技特性
- 日本のスタイル

1. 一体型強化体制「3x3・5on5」



1. 一体型強化体制 「強化ポイント」

■ 「一体型強化体制」の組織化

1. 技術委員会に「3x3強化部会」を設置

メリット①…3x3と5人制との連携による「中長期強化プランの策定」

2. 男女各カテゴリー（A代表・U22・U18）に「チームリーダーを配置」

メリット②…5人制選手の「情報共有」 / 「選手選考の効率化」

例) Bリーガー、Wリーガー、大学からの3x3代表入り
備考) 選手会との連携

■ 2020に向けた「チーム強化体制」の始動（9月～）

3. ロイブルJAPAN「ディレクターコーチにロイブル氏を招へい」※男女兼務

メリット①…JBA3x3強化体制のプロモーション

メリット②…コーチ育成、及び、アンダーからA代表選手への一貫指導
例) 3x3を通じたドイツ式の育成・強化プログラムの実施

メリット③…選手リクルートの活性化

メリット④…海外NF、海外遠征に係る連携の強化

トーステン・ロイブル (Torsten Loibl)

3x3男女代表ディレクターコーチ (2018年9月～)

生年月日 : 1972年5月1日 (46歳)

出身地 : ドイツ

コーチライセンス: A-License of DBB

FIBA World Coach education instructor

主な指導歴 :

◎プロコーチ歴 ヘッドコーチ

・ 2007年 トヨタアルバルク／オールジャパン 優勝

JBL スーパーリーグ 優勝

◎代表コーチ歴 ヘッドコーチ

・ 2017年 U19男子日本代表／FIBA U19 World Cup 10位

◎年間最優秀コーチ賞 2007年 JBL スーパーリーグ (日本)

2010年 Bundesliga ProA (ドイツ)



3. オリンピックチーム編成「代表選考スケジュール」

1. 2020に向けた男子代表の強化

■ オリンピックチームの編成

- ▶ 2019年2月 →第1次 選考合宿「既存3x3+大学生+Bリーガー」
- ▶ 2019年4月 →アジアカップ等「既存3x3+大学生」中心
- ▶ 2019年6月 →第2次 選考合宿「既存3x3+大学生+Bリーガー+**帰化選手**」
- ~2020年7月 →男子日本オリンピックチーム 本格強化

2. 2020に向けた女子代表の強化

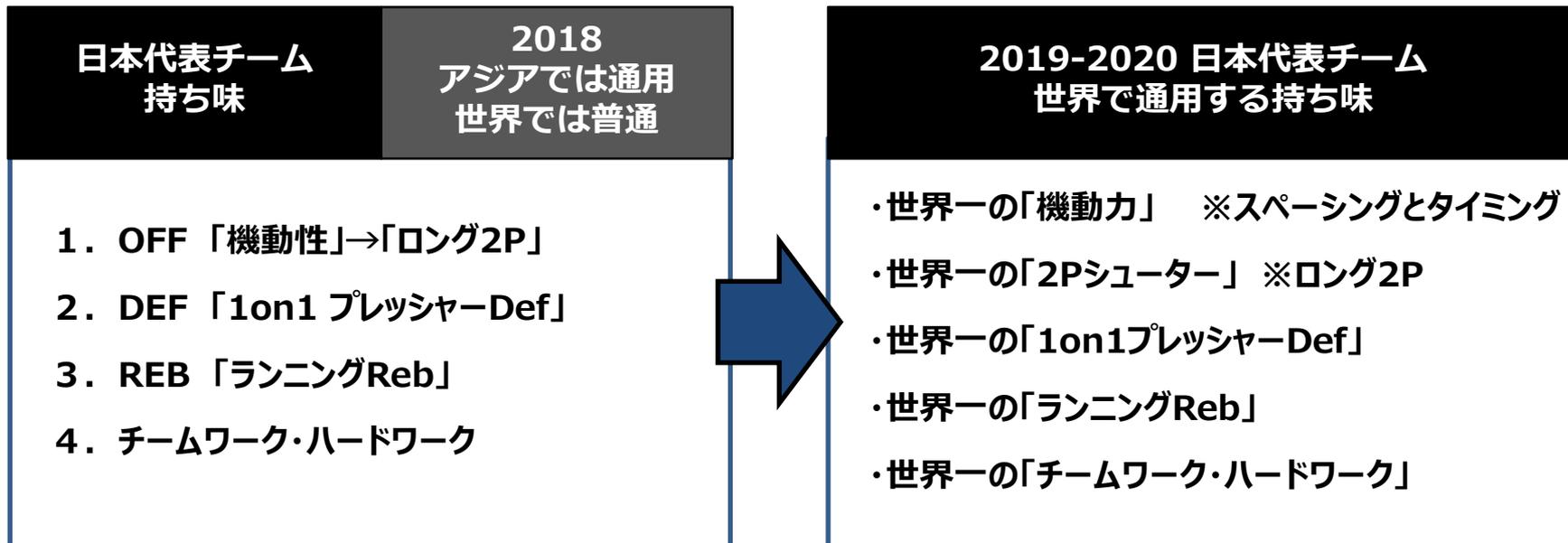
■ オリンピックチームの編成

- ▶ 2019年2月 →第1次 選考合宿「既存3x3+大学生」
- ▶ 2019年3月 →第2次 選考合宿「Wリーガー+既存3x3+大学生」
- ▶ 2019年4~10月 →アジアカップ・ワールドカップ・Nations League等「対象同上」
- ~2020年3~7月 →女子日本オリンピックチーム 本格強化

※NF大会出場

・・・国内トップランク10位以内の選手2名必須（前年11月1日時点）

4. 世界と戦えるチーム強化「チーム強化指針」



4. 世界と戦えるチーム強化「強化環境の充実」

■ 強化活動日数の増加

- ① 強化活動拠点の開拓（屋内外）
- ② 強化合宿の誘致（大和市、松本市、岡山、北海道…）
- ③ 活動資金の創出（オリンピックチームPR、認知度UP、プロモーション）
- ④ 活動日程の調整（5on5とのスケジュール調整／所属先との調整）

■ パフォーマンス・コントロール・システムの構築

- ① 代表選手（候補含む）に対する代表活動外におけるパフォーマンスの把握
- ② ①の上で、パフォーマンス維持・向上のためのチームとの連携
- ③ ①の上で、怪我予防・リカバリーのためのチームとの連携

■ 強化活動となる大会の活用

- ① 国内大会との連携（競技システムの検討／大学年代の大会の検討）
- ② 海外大会、海外NF、海外オーガナイザーとの連携
- ③ ヨーロッパキャンプ→転戦
- ④ アジア転戦

■ 3x3コーチ・レフリース育成

- ① JBAコーチ・レフリース育成システムへの追加の検討
- ② 代表強化キャンプ→コーチに対する公開の検討